

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年5月22日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第1号

1 5月15日現在の水稻生育状況

- ① 北空知の播種作業は平年並みに進みました。播種期は平年より2日早い4/17で平年並みです。出芽期は平年より2日早い4/23で平年並みです。5/15現在、ななつぼしの草丈はやや長く葉数は平年並みで、生育状況は平年並みです。
- ② 5/15現在、北空知ゆめぴりかの草丈はやや長く葉数は平年並みです。深川ふっくりんこの草丈はやや長く、葉数もやや多くなっています。
- ③ 幌加内の播種期は平年より2日早い4/18で平年並みです。5/15現在、きたゆきもちの草丈は平年より長く、葉数もやや多くなっていますが、生育状況は平年並みです。
- ④ 北空知の移植作業は、平年並みに進んでいると思われます。5/10以降に移植した苗は、移植後5日間の平均気温が平年より高く、日照時間も多いことから活着は順調に進んでいると思われます。

表1 令和6年 水稻の生育状況（5月15日現在）

〈普及センター調べ〉

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	茎数 本/個体	生育遅速日 数(評価)	農作業期・生育期節(月/日)			
						播種期	出芽期	移植始	移植期
ななつぼし (北空知)	R6年	13.2	4.0	1.7	早1日 (平年並)	4/17	4/23	(5/17)	
	平年	11.7	3.9	1.7		4/19	4/25	5/17	5/21
	差	113%	0.1	100%		早2日	早2日	(±0日)	
	評価	やや長	平年並	—		平年並	平年並	(平年並)	
ゆめぴりか (北空知)	R6年	13.9	3.9	1.7	—	—	—	—	—
	平年	11.8	4.0	1.8		—	—	—	—
	差	118%	-0.1	94%		—	—	—	—
	評価	やや長	平年並	—		—	—	—	—
ふっくりんこ (深川)	R6年	13.5	4.0	2.0	—	—	—	—	—
	平年	11.8	3.6	1.7		—	—	—	—
	差	114%	0.4	118%		—	—	—	—
	評価	やや長	やや多	—		—	—	—	—
きたゆきもち (幌加内)	R6年	16.6	4.1	1.3	早1日 (平年並)	4/18	—		
	平年	12.8	3.8	1.6		4/20	—	5/18	5/22
	差	130%	0.3	81%		早2日	—		
	評価	長	やや多	—		平年並	—		

2 移植直後から活着期の水管理

- ① 稲の活着は、気温より水温に左右されると言われています。移植後10日間の平均水温が15℃以上で、水温が高くなるに従って活着は良くなります。
- ② 活着の適水温は23～25℃です。水温を上昇させるために日照時間を有効に利用しましょう。入水は夜間から早朝までに行い、日中は止水管理で水温の上昇に努めてください。また、移植後の北寄りの強風や低温曇雨天による植え傷みに注意して、本田の水管理を行ってください。

表2 移植直後から活着期の水管理

時 期	目標水温	水 深	水管理の注意点
移植直後～ 2日目	23～25℃ (15℃以上)	①通常:2～3cm ②低温・強風・晩霜の予想時:株全体が隠れる程度の水深	①移植直後に入水する。 ②止水管理をする。
移植3日目 ～活着期	23～25℃ (15℃以上)	①通常:3～4cm ②低温・強風・晩霜の予想時:4～6cm (最上位展開葉の付け根まで)	①止水管理をする。 ②畦畔等の漏水を確認する。 ③水深6cmは最上位展開葉の付け根までの目安の水深。

[担当:販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年6月10日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第2号

1 6月1日現在の水稻生育状況

- ① 北空知の移植終は、平年並みの5/27です。活着期は平年より2日遅い5/28です。6/1現在の生育遅速は、平年より2日遅い「平年並」です。北空知ななつぼしの草丈は平年並みですが、葉数・ m^2 茎数は平年より少ないです。
- ② 北空知ゆめぴりかの草丈は平年並みですが、葉数・ m^2 茎数は少ないです。深川ふっくりんこの草丈・葉数は平年並みですが、 m^2 茎数は平年より少ないです。
- ③ 幌加内の移植は平年よりやや早まり、移植終は平年より3日早い5/24です。活着期は平年より1日遅い5/29です。6月1日現在の生育遅速は、平年より2日遅い「平年並」です。きたゆきもちの草丈は平年並みですが、葉数はやや少ないです。 m^2 茎数は平年よりやや少なくなっています。

表1 令和6年 水稻の生育状況（6月1日現在）

<普及センター調べ>

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	株当たり 茎数 本	m^2 茎数 本/ m^2	生育遅速日 数(評価)	生育期節・農作業期(月/日)		
							移植期	移植終	活着期
ななつぼし (北空知)	R6年	18.8	5.0	4.5	93	遅2日 (平年並)	5/20	5/27	5/28
	平年	20.2	5.5	5.5	124		5/21	5/27	5/26
	差	93%	-0.5	82%	75%		早1日	±0日	遅2日
	評価	平年並	少	少	少		平年並	平年並	平年並
ゆめぴりか (北空知)	R6年	21.1	5.0	4.8	102	—	—	—	—
	平年	20.6	5.8	5.8	128		—	—	—
	差	102%	-0.8	83%	80%		—	—	—
	評価	平年並	少	少	少		—	—	—
ふっくりんこ (深川)	R6年	21.4	5.2	4.6	104	—	—	—	—
	平年	21.1	5.4	6.4	149		—	—	—
	差	101%	-0.2	72%	70%		—	—	—
	評価	平年並	平年並	少	少		—	—	—
きたゆきもち (幌加内)	R6年	20.2	4.9	4.3	95	遅2日 (平年並)	5/19	5/24	5/29
	平年	18.9	5.2	4.5	101		5/22	5/27	5/28
	差	107%	-0.3	96%	94%		早3日	早3日	遅1日
	評価	平年並	やや少	平年並	やや少		やや早	やや早	平年並

2 活着期から分けつ期の水管理

分けつが始まったら、幼穂形成期までに m^2 当たり茎数が600本（株当たり茎数26～30本）を目標に水管理を行います。

表2 稲の生育と水温

- ① この時期の目標水温は23℃です。昼間30℃以上、夜間15℃の水温の日較差で分けつが増加し、草丈が伸長し、葉数の増加につながります。この条件をつくる水深は3～5cmです。
- ② 入水は、夜間から早朝に行い、日中は「止水管理」を行います。気象情報を確認し日照が期待できる日は、事前に入水して水温を上げる努力をしましょう。
- ③ 中干しを行う条件は、A：最低気温14℃以上で好天が3～5日続く見込みである。B：最低気温11～12℃で最高気温が24～25℃以上の日が3～5日続く見込みである。週間天気を確認して、A・Bどちらかの条件になる時期に行ってください。中干しは、幼穂形成期前に終わらせませす（幼形期平年：6/25～29）。

項目	水 温	
	限界水温	適水温
活 着		23～25℃
分けつ発生	15～18℃	16～30℃
草丈伸長	11～12℃	25～30℃
葉数増加	9～10℃	25～30℃

表3 活着期から分けつ期の水管理

時 期	目標水温	水 深	水管理の注意点
活着期～ 分けつ期間	23℃ (昼間30℃以上、 夜間15℃)	①通常：3～5cm ②低温・強風・晩霜の予想時：6～8cm (最上位展開葉の付け根まで)	①止水管理をする。 ②かんがいは夜間～早朝に行う。 ③気象情報に注意し事前に入水し、水温を上昇させる。 ④水深10cmは分けつが抑制される。

[担当：販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年6月18日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第3号

1 6月15日現在の水稻生育状況

- ① 5月末の日照不足、5月末から6月初の低温の影響で、北空知ななつぼしの分けつ始は、平年より3日遅い6/5です。ななつぼしの草丈はやや短く、葉数もやや少ないです。㎡茎数は平年の70%で少ないです。6/15現在の生育遅速は平年より3日遅い「やや遅」です。
- ② 北空知ゆめぴりかの草丈は平年並みですが、葉数はやや少ないです。㎡茎数は平年の75%で少ないです。深川ふっくりんこの草丈はやや短く、葉数は平年並みです。㎡茎数は平年の79%で少ないです。
- ③ 幌加内きたゆきもちの分けつ始は、平年並みの6/7日です。きたゆきもちの草丈は平年並み、葉数も平年並みです。㎡茎数は平年の97%で平年並みです。6/15現在の生育遅速は平年並みで、6月2半旬以降の好天により生育は回復してきました。

表1 令和6年 水稻の生育状況（6月15日現在）

〈普及センター調べ〉

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	株当たり 茎数 本	㎡茎数 本/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節(月/日)		
							分けつ始	幼穂形成期	止葉期
ななつぼし (北空知)	R6年	30.9	6.9	9.6	203	遅3日 (やや遅)	6/5		
	平年	32.8	7.4	12.9	290		6/2	6/27	7/14
	差	94%	93%	74%	70%		遅3日		
	評価	やや短	やや少	少	少		やや遅		
ゆめぴりか (北空知)	R6年	32.2	7.2	11.0	243	—	—		
	平年	31.6	7.7	14.5	325		—	6/26	7/14
	差	102%	94%	76%	75%		—		
	評価	平年並	やや少	少	少		—		
ふっくりんこ (深川)	R6年	30.7	7.1	12.2	274	—	—		
	平年	32.2	7.2	15.1	349		—	6/29	7/15
	差	95%	99%	81%	79%		—		
	評価	やや短	平年並	少	少		—		
きたゆきもち (幌加内)	R6年	30.5	6.8	7.7	170	±0日 (平年並)	6/7		
	平年	29.1	6.9	7.9	176		6/8	6/28	7/15
	差	105%	99%	97%	97%		早1日		
	評価	平年並	平年並	平年並	平年並		平年並		

2 茎数が少ない水田が目立ちます。適正な水管理をしましょう！！

- ① 幼穂形成期（6月末頃）までに、㎡当たり茎数600本（株当たり茎数28～30本）を目指します。目標水温は23℃で、昼間30℃以上、夜間15℃の水温の日較差で、分けつが増加し草丈が伸長、葉数が増加します。この条件をつくる水深は3～5cmです。週間気象予報を確認して、日照が期待できる日は、事前に入水して水温を上げる努力をしましょう。

- ② 分けつが少ない、水田のワキが気になる等の理由から、「中干し」を予定している組合員さんは、次の条件を満たすことができるかで、中干しの時期を判断してください。

- ◆ 週間天気予報を確認して、最低気温14℃以上で好天が3～5日続く見込みである。又は最低気温11～12℃で最高気温24～25℃以上の日が3～5日続く見込みである。

- ◆ 幼穂形成期までに、中干しを終わらせることができる。

[平年の幼穂形成期: 深川 6/25(ななつぼし・ゆめぴりか)～6/29(ふっくりんこ)、雨竜・北竜 6/29(ななつぼし・ゆめぴりか)、幌加内 6/28(きたゆきもち)]

表2 稲の生育適水温

項目	水 温	
	限界水温	適水温
活 着		23～25℃
分けつ発生	15～18℃	16～30℃
草丈伸長	11～12℃	25～30℃
葉数増加	9～10℃	25～30℃

[担当: 販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年7月5日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第4号

1 7月1日現在の水稻生育状況

- ① 北空知ななつぼしは、草丈が長く、葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比92%です。幼穂形成期は平年より1日早い6/26です。7/1現在の生育遅速は平年より1日早い「平年並」です。
- ② 北空知ゆめぴりかは、草丈が長く、葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比82%で少ないです。幼穂形成期は平年より1日早い6/25です。深川ふっくりんこは、草丈が長く、葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比88%で少ないです。幼穂形成期は平年より3日早い6/26です。
- ③ 幌加内きたゆきもちは、草丈が長く葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比95%でやや少ないです。幼穂形成期は平年より1日早い6/27です。7/1現在の生育遅速は「早1日」の平年並みです。

表1 令和6年 水稻の生育状況（7月1日現在）

〈普及センター調べ〉

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	株当たり 茎数 本	㎡茎数 本/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節(月/日)		
							幼穂形成期	止葉期	出穂始
ななつぼし (北空知)	R6年	51.5	9.4	25.3	537	早1日 (平年並)	6/26		
	平年	44.3	9.2	25.9	581		6/27	7/14	7/21
	差	116%	102%	98%	92%		早1日		
	評価	長	平年並	平年並	やや少		平年並		
ゆめぴりか (北空知)	R6年	52.6	9.2	24.8	537	—	6/25		
	平年	43.5	9.6	29.5	658		6/26	7/14	7/20
	差	121%	96%	84%	82%		早1日		
	評価	長	平年並	少	少		平年並		
ふっくりんこ (深川)	R6年	53.3	9.6	27.4	618	—	6/26		
	平年	43.7	9.1	30.5	704		6/29	7/15	7/21
	差	122%	105%	90%	88%		早3日		
	評価	長	平年並	少	少		やや早		
きたゆきもち (幌加内)	R6年	52.2	9.2	19.4	431	早1日 (平年並)	6/27		
	平年	44.4	9.1	20.5	456		6/28	7/15	7/23
	差	118%	101%	95%	95%		早1日		
	評価	長	平年並	やや少	やや少		平年並		

2 前歴期間と冷害危険期の見込みと水管理

- ① 前歴期間の目標水温は25℃（最低21℃以上）です。期間前半の水深は5cm、後半の水深は10cmで幼穂の伸長に合わせ徐々に深水にします。止水管理をして好天時に水温上昇に努めます。
- ② 冷害危険期の目標水温は19℃以上です。危険期前半の水深は13～15cm、危険期後半の水深は18～20cmです。漏水に伴う毎日の入水は、水温が低下しますので注意してください。
- ③ 週間天気予報で、高温が続く見込みであっても、前歴期間と冷害危険期の深水管理は、必ず行ってください。冷害危険期が終了したら、出穂が始まるまで中干しと溝切りを実施してください。

表2 令和6年 地区別・品種別の前歴期間と冷害危険期の見込み

(月/日)

地区	品種	幼穂 形成期	前歴期間の見込み		冷害危険期の見込み		止葉期 見込み	出穂始 見込み
			始	終	始	終		
深川	ななつぼし	6/23	6/23	7/6	7/7	7/13	7/10	7/18
	ゆめぴりか	6/22	6/22	7/6	7/7	7/13	7/10	7/16
	ふっくりんこ	6/26	6/26	7/8	7/9	7/15	7/12	7/18
雨竜	ななつぼし	6/29	6/29	7/12	7/13	7/19	7/16	7/23
	ゆめぴりか	6/30	6/30	7/14	7/15	7/21	7/18	7/24
北竜	ななつぼし	6/28	6/28	7/12	7/13	7/19	7/16	7/22
	ゆめぴりか	6/28	6/28	7/11	7/12	7/18	7/15	7/22
幌加内	きたゆきもち	6/27	6/27	7/10	7/11	7/17	7/14	7/22

(注1)北海道技術普及課資料引用。(注2)普及センター作況より作成。

(注3)止葉期見込み・出穂始見込みは、幼穂形成期の遅速日数より算出。

[担当:販売部島倉]

そのときどきの技術情報

＜水 稲 編＞

発行日：令和6年7月8日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第5号

＜出穂が始まったら、胴割米防止の水管理をします＞

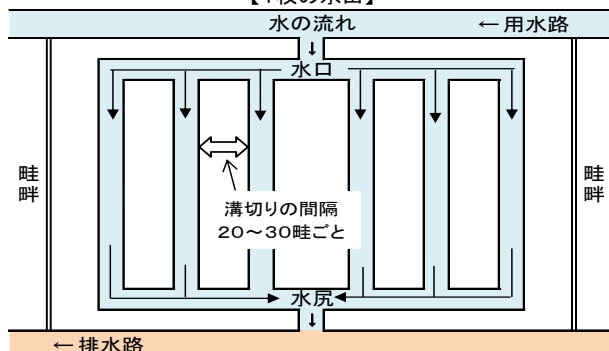
1 出穂始～10日間は、掛け流しかんがい・間断かんがいをします

- ① 胴割米(胴割粒)は、出穂から10日間に最高気温28℃以上で日照時間が多いと発生します。夜温(最低気温)が下がらないため、稲体や稲株周辺の温度も下がらず胴割粒が増加します。
- ② 出穂始～10日間は、夜間に稲体や稲株周辺の温度を下げる「掛け流しかんがい」、又は「間断かんがい」により胴割米の発生を防いでください。
- ③ 胴割米が発生しやすい「ななつぼし」は、必ずこの水管理を行ってください。

表1 胴割米を防止する水管理(高温回避型・治療型の技術対策)

時期	項目	胴割米を防止する水管理	
		水の掛け流しが出来る水田 2～3cm(掛け流しかんがい)	水の掛け流しが出来ない水田 0～3cm(間断かんがい自然落水)
出穂始～2週間	水深	2～3cm(掛け流しかんがい)	0～3cm(間断かんがい自然落水)
	水管理の注意点	<ol style="list-style-type: none"> ① 出穂が始まったら直ちに入水し、出穂始から2週間程度は、水の掛け流しを継続します。 ② 水の掛け流しは、用水路の最高水温(午後2時～3時頃の水温)が22℃以下であることを確認してください。最高水温が23℃以上の場合は、夜間に稲体や稲株周辺の温度を下げる効果が低下します。 ③ 掛け流しかんがいをを行う期間は、出穂始(5%出穂時)～10日間です。ただし、出穂始後11～15日に最高気温28℃以上の日が続くことが予想される場合は、掛け流し期間を延長します。 ④ 掛け流しかんがいは、用水量が増えるため地域で水不足が生じないように注意が必要です。どの程度の面積が可能か、どこを優先(品種ななつぼし)して実施するか等を、地域で事前に検討します。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 水管理は、足跡に水が溜まっている程度まで自然落水し、気温が下がる夕方以降に入水する間断かんがいを繰り返し繰り返します。 ② 土壌水分は必ず90～70%を維持してください(土壌表面に1cm以上の亀裂を作らない)。 ③ 間断かんがいを円滑に行うために、事前に溝切りを施工します(図) ④ この水管理を行う期間は、出穂始(5%出穂時)から10日間です。ただし、出穂始後11～15日に最高気温28℃以上の日が続くことが予想される場合は、間断かんがいの水管理を延長します。
胴割米の発生条件	<ol style="list-style-type: none"> ① 出穂後10日間の最高気温が28℃以上で多照条件(夜間に稲株周辺の温度が23℃以上になっている)。 ＜胴割粒が発生しやすい基準温度＝出穂後10日間の最高気温の平均:30℃以上＞ ② 登熟期の稲の栄養が不足する(葉色が薄い)。 ③ 早期落水、刈り遅れによる籾含水率が過度に低下する。 ④ 高水分籾を高温で乾燥する。 		

【1枚の水田】



＜溝切りの施工＞

- ① 間断かんがいが円滑に出来るように、冷害危険期終了後～出穂前に、溝切りを行い水路を確保します。
- ② または、出穂後に落水し(透排水性不良田は出穂期～出穂揃に落水)、溝切りを施工します。
- ③ 溝切りの間隔:透排水性良好田は20～30畦ごと、透排水性不良田は10～15畦ごとに施工し、集水溝を切って水口と水尻を繋ぎます(図)。

[担当:販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

令和6年 第6号

発行日：令和6年7月19日
発行：JAきたそらち販売部
各支所 営農課

1 7月15日現在の水稻生育状況

- ① 北空知ななつぼしの草丈・葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比94%でやや少ないです。止葉期は平年より1日早い7/13、7/15現在の生育遅速は平年並みです。
- ② 北空知ゆめぴりかの草丈は平年並み、葉数はやや少ないです。㎡茎数は平年比83%で少ないです。止葉期は平年より3日早い7/11です。深川ふっくりんこの草丈・葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比92%でやや少ないです。止葉期は平年より1日早い7/14です。
- ③ 幌加内きたゆきもちの草丈・葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比105%の平年並みです。止葉期は平年より1日早い7/14です。7/15現在の生育遅速は平年並みです。

表1 令和6年 水稻の生育状況（7月15日現在）

〈普及センター調べ〉

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	株当たり 茎数 本	㎡茎数 本/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節(月/日)		
							止葉期	出穂始	出穂期
ななつぼし (北空知)	R6年	68.6	10.5	28.0	586	早1日 (平年並)	7/13		
	平年	66.1	10.5	27.8	622		7/14	7/21	7/25
	差	104%	100%	101%	94%		早1日		
	評価	平年並	平年並	平年並	やや少		平年並		
ゆめぴりか (北空知)	R6年	68.6	10.5	28.6	611	—	7/11		
	平年	65.1	11.0	33.3	738		7/14	7/20	7/24
	差	105%	95%	86%	83%		早3日		
	評価	平年並	やや少	少	少		やや早		
ふっくりんこ (深川)	R6年	71.7	10.5	29.0	652	—	7/14		
	平年	68.6	10.6	30.6	706		7/15	7/21	7/25
	差	105%	99%	95%	92%		早1日		
	評価	平年並	平年並	やや少	やや少		平年並		
きたゆきもち (幌加内)	R6年	69.1	10.1	25.4	563	早1日 (平年並)	7/14		
	平年	66.7	10.1	24.2	538		7/15	7/23	7/27
	差	104%	100%	105%	105%		早1日		
	評価	平年並	平年並	平年並	平年並		平年並		

2 密苗、直播のいもち病・カメムシ防除

- ① 地区のいもち病・カメムシの基幹防除時期は、成苗ポットの出穂期を目安に、防除時期を決めていますが、密苗や直播は、出穂が遅いため防除時期を遅らせる必要があります。
- ② 密苗や直播は、防除時期を遅らせても2回の基幹防除は必要です。最近は高温傾向のため、いもち病の基幹防除は必ず2回行います。基幹防除と追加防除の薬剤は、表2から使用薬剤を選択して使用します。
- ③ 追加防除の要防除水準（カメムシ 20 回振りすくい取り頭数）は、ななつぼし1頭、えみまる・ゆめぴりか2頭以上です（出穂後30日間の気温が平年比+2℃場合、防除水準は半分になります）。

表2 密苗、直播のいもち病・カメムシ防除薬剤（JAきたそらち農作物病害虫・雑草防除ガイド）

防除	防除時期	病害虫名	使用薬剤	無人ヘリ散布		ビークル散布		適正使用基準	
				使用濃度	10a散布量	使用濃度	10a散布量	収穫前日数	使用回数
基幹防除 1回目	出穂期	いもち病	ダブルカットフロアブル	8倍	800mL	300倍	25L	穂揃期まで	2
基幹防除 2回目	1回目防除7日後	いもち病、 カメムシ、 ウンカ類	ダブルカットスタークルフロアブル	8倍	800mL	300倍	25L	穂揃期まで	2
			ダブルカットKフロアブル	8倍	800mL	300倍	25L	穂揃期まで	2
			ダブルカットエクシードフロアブル	8倍	800mL	300倍	25L	穂揃期まで	2
追加防除	基幹防除2回目7日後 に予察調査、要防除 水準で2回目防除後7 ～10日目に防除	カメムシ、 ウンカ類	スタークル液剤10	8倍	800mL	300倍	25L	7日前まで	3
			エクシードフロアブル	16倍	800mL	500倍	25L	7日前まで	3

（注意）深川市内イエスクリーン栽培米では、ダブルカットエクシードフロアブル、エクシードフロアブルは使用できません。

[担当：販売部 島倉]

そのときどきの技術情報

＜水 稲 編＞

発行日：令和6年8月1日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第7号

＜出穂期後10～21日は、白未熟粒防止の水管理をします＞

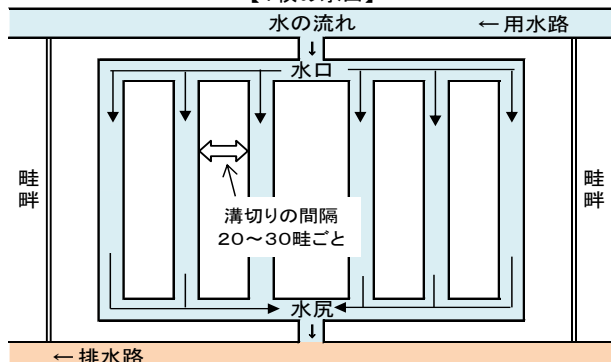
1 出穂期後10～21日は、掛け流しかんがい・間断かんがいをします

- ① 白未熟粒(腹白粒・乳白粒等)は、出穂期後10～21日に最高気温29℃以上、夜温23℃以上の日が5日以上続くと多発します。夜温が下がらないため、稲体や稲株周辺の温度が下がらないことが原因です。
- ② 出穂期後10～21日(3週間)は、夜間に稲体や稲株周辺の温度を下げる「掛け流しかんがい」、又は「間断かんがい」により白未熟粒の発生を防いでください。
- ③ 白未熟粒の発生が多い「ふっくりんこ」や「ゆめぴりか」は、必ずこの水管理を行ってください。

表2 白未熟粒を防止する水管理(高温回避型・治療型の技術対策)

時期	項目	白未熟粒を防止する水管理	
		水の掛け流しが出来る水田	水の掛け流しが出来ない水田
出穂後10～21日(3週間)	水深	3～4cm(掛け流しかんがい)	1～4cm(間断かんがい自然落水)
	水管理の注意点	<ol style="list-style-type: none"> ① 掛け流しかんがいをします。 ② 水の掛け流しは、用水路の最高水温(午後2時～3時頃の水温)が22℃以下であることを確認してください。最高水温が23℃以上の場合は、夜間に稲体や稲株周辺の温度を下げる効果が低下します。 ③ 掛け流しかんがいをを行う期間は、出穂期後10～21日(3週間)です。その後、出穂期後25日頃までは、間断かんがいにより、土壤水分90～70%を維持します(高温登熟年は出穂期後30日まで)。 ④ 掛け流しかんがいは、用水量が増えるため地域で水不足が生じないように注意が必要です。どの程度の面積が可能か、どこを優先(品種ふっくりんこ・ゆめぴりか)して実施するか等を、地域で事前に検討します。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 水管理は、足跡に水が溜まっている程度まで自然落水し、気温が下がる夕方以降に入水する間断かんがいを繰り返し繰り返します。 ② 出穂期後25日まで(高温登熟年は出穂期後30日まで)、土壤水分90～70%を維持してください(土壤表面に1cm以上の亀裂を作らない)。 ③ 間断かんがいを円滑に行うために、事前に溝切りを施工します(図) ④ この水管理を行う期間は、出穂期後10～21日(3週間)です。
腹白粒・乳白粒等の発生条件	<ol style="list-style-type: none"> ① 出穂後20日間の気温が高い(白未熟粒が発生しやすい基準温度＝出穂後20日間の最高気温の平均:32℃以上、出穂後20日間の平均気温の平均:27℃以上、出穂後20日間の最低気温の平均:23℃以上)。 ② 出穂期後10～21日(3週間)に最高気温29℃以上、夜温(最低気温)23℃以上の日が5日以上継続する。 ③ 総粒数が多い(弱勢穂が増加し乳白粒が発生)。 ④ 水ストレスを受ける(早期落水・フェーン現象)。 ⑤ 登熟期間の日照が不足する。稲の栄養が不足する(葉色が薄い)。 		

【1枚の水田】



＜溝切りの施工＞

- ① 間断かんがいが円滑に出来るように、冷害危険期終了後～出穂前に、溝切りを行い水路を確保します。
- ② または、出穂後に落水し(透排水性不良田は出穂期～出穂揃に落水)、溝切りを施工します。
- ③ 溝切りの間隔:透排水性良好田は20～30畦ごと、透排水性不良田は10～15畦ごとに施工し、集水溝を切って水口と水尻を繋ぎます(図)。

[担当:販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年8月7日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第8号

1 8月1日現在の水稻生育状況

- ① 北空知ななつぼしの草丈はやや長く、葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比95%でやや少ないです。出穂期は平年より4日早い7/21、出穂揃は平年比早2日の7/28です。8/1現在の生育遅速は、早2日の平年並みです。
- ② 北空知ゆめぴりかの草丈・葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比87%で少ないです。出穂期は平年より4日早い7/20です。深川ふっくりんこの草丈・葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比83%で少ないです。出穂期は平年より3日早い7/22です。穂数型品種の「ゆめぴりか・ふっくりんこ」の茎数不足が目立ちます。
- ③ 幌加内きたゆきもちの草丈・葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比111%で多いです。出穂期は平年より5日早い7/22、出穂揃は平年より4日早い7/26です。8/1現在の生育遅速は、平年より4日早い「やや早」です。

表1 令和6年 水稻の生育状況（8月1日現在）

<普及センター調べ>

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	株当たり 茎数 本	㎡茎数 本/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節(月/日)		
							出穂始	出穂期	出穂揃
ななつぼし (北空知)	R6年	92.9	10.6	27.6	573	早2日 (平年並)	7/18	7/21	7/28
	平年	87.1	10.6	27.0	604		7/21	7/25	7/30
	差	107%	100%	102%	95%		早3日	早4日	早2日
	評価	やや長	平年並	平年並	やや少		やや早	やや早	平年並
ゆめぴりか (北空知)	R6年	88.7	10.7	28.4	606	—	7/17	7/20	7/25
	平年	86.8	11.1	31.4	694		7/20	7/24	7/28
	差	102%	96%	90%	87%		早3日	早4日	早3日
	評価	平年並	平年並	少	少		やや早	やや早	やや早
ふっくりんこ (深川)	R6年	90.1	10.8	24.3	548	—	7/19	7/22	7/25
	平年	89.7	10.7	28.7	662		7/21	7/25	7/29
	差	100%	101%	85%	83%		早2日	早3日	早4日
	評価	平年並	平年並	少	少		平年並	やや早	やや早
きたゆきもち (幌加内)	R6年	82.3	10.1	26.4	585	早4日 (やや早)	7/19	7/22	7/26
	平年	80.9	10.2	23.8	528		7/23	7/27	7/30
	差	102%	99%	111%	111%		早4日	早5日	早4日
	評価	平年並	平年並	多	多		やや早	早い	やや早

2 落水時期と登熟期間の土壤水分維持

- ① 落水時期は、水田の透排水性により違います。
 - 透排水性良好田（褐色低地土）は、出穂期後25日頃（穂かがみ期）に落水します。
 - 透排水性不良田（灰色低地土・グライ土等）は、出穂期～出穂揃に落水します。
- ② 落水後も、出穂期から1か月間は土壤水分70～90%を維持してください。湛水状態は、根の活力が低下してカリや水分などの吸収が少なくなります。土壤水分60%以下では、養水分そのものの吸収が減少して、粳に澱粉を蓄えることができなくなります。登熟期間は、気象情報に注意して降雨が期待できない時は「走り水」を行い、適正な土壤水分の維持に努めてください。
- ③ ただし、収穫の10日前に土壤水分が多いと、コンバイン走行に悪影響がありほ場を傷めます。出穂期後1か月を過ぎたら、作土に1cm位の亀裂があり、足跡がわずかに付く程度まで、ほ場が乾くようにします。

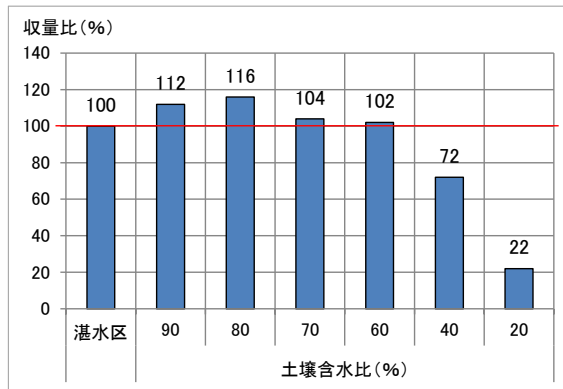


図1 出穂期以降の土壌水分と稲の収量(高井)

[担当:販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年8月7日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第9号

1 腹白粒・乳白粒を防止する水管理実施期間の目安

- ① 白未熟粒（腹白粒・乳白粒）の増加する気象条件は、出穂後 20 日間の最高気温の平均：32℃以上、20 日間の平均気温の平均 27℃以上、20 日間の最低気温の平均 23℃以上です。
- ② また、従来から示されている出穂期後 10 日～3週間（21 日）に、最高気温 29℃以上、夜温（最低気温）23℃以上の日が5日以上継続する際に多発します。
- ③ 普及センター作況の品種別出穂期から、白未熟粒の発生しやすい期間を示しました（表 1）。
深川地区はお盆前まで、雨竜・北竜地区はお盆過ぎまで、夜間に稲体や稲株周辺の温度を下げる水管理が必要になります（水管理の詳細は8／1 発行、そのときどきの技術情報水稻編第7号）。
- ④ 最新の週間予報（表 2）では、最高気温 29℃以上の日が続きます。また、夜温が高なくても日照時間が不足すると（4時間／日以下）、粳への澱粉の蓄積が不十分になり白未熟粒が発生します。この期間の「掛け流しかんがい」や「間断かんがい」は、白未熟防止の技術対策として重要です。
さらに、落水し水田土壌が乾いている（水田に 1 cm 以上の亀裂が多発）状態は、胴割米や白未熟粒を増加させる要因になります。

表 1 R6年 水稻作況の出穂期（普及センター）

品種	地区	R6出穂(月／日)			平年出穂(月／日)			穂揃日数(日)			白未熟対策水管理必要期間 出穂期後10日～出穂期後21日
		始	期	揃	始	期	揃	R6	平年	平年差	
ななつぼし	深川	7/15	7/18	7/23	7/20	7/23	7/27	8	7	1	7/28～8/8
	雨竜	7/21	7/25	7/30	7/23	7/27	8/1	9	9	0	8/4～8/15
	北竜	7/20	7/25	8/1	7/23	7/28	8/2	12	10	2	8/4～8/15
	平均	7/18	7/22	7/28	7/22	7/26	7/30	10	9	1	8/1～8/12
ゆめぴりか	深川	7/14	7/18	7/22	7/19	7/23	7/27	8	8	0	7/28～8/8
	雨竜	7/21	7/24	7/28	7/23	7/28	8/1	7	9	-2	8/3～8/14
	北竜	7/19	7/23	7/28	7/23	7/27	7/31	9	8	1	8/2～8/13
	平均	7/18	7/21	7/26	7/21	7/26	7/30	8	8	-0	7/31～8/11
ふっくらんこ	深川	7/19	7/22	7/25	7/21	7/25	7/29	6	8	-2	8/1～8/12
きたゆきもち	幌加内	7/19	7/22	7/26	7/23	7/27	7/30	7	7	0	8/1～8/12

(注)平均は単純平均値。

表 2 深川の週間天気予報（tenki.jp、8/7 12：00 発表）

月／日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
天気	雨 曇	雨 曇	曇 / 晴	曇 / 晴	晴 曇	晴 曇	晴 曇	曇 晴	曇 晴	曇 晴
最高気温℃	31	29	29	30	27	29	29	31	31	31
最低気温℃	22	22	22	21	18	17	19	21	21	22

月／日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日
曜日	土	日	月	火
天気	曇 晴	曇	曇	曇
最高気温℃	31	28	26	27
最低気温℃	21	21	19	17

[担当:販売部島倉]

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年8月21日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第10号

1 8月15日現在の水稻生育状況

- ① 北空知の8/15現在の生育遅速は、平年より5日早い「早い」です。ななつぼしの草丈はやや長く、止葉葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比96%で平年並みです。
- ② 北空知ゆめぴりかの草丈・止葉葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比88%で少ないです。深川ふっくりんこの草丈・止葉葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比82%で少ないです。各品種とも、昨年と同様に草丈が90cm以上あるため、生育の旺盛な箇所等では倒伏する恐れがあります。
- ③ 幌加内の8/15現在の生育遅速は、平年より5日早い「早い」です。きたゆきもちの草丈・止葉葉数は平年並みです。㎡茎数は平年比120%で多いです。

表1 令和6年 水稻の生育状況（8月15日現在）

〈普及センター調べ〉

水稻品種 (地域)	項目	草丈 cm	葉数 枚	株当たり 茎数 本	㎡茎数 本/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節(月/日)		
							出穂期	出穂揃	成熟期
ななつぼし (北空知)	R6年	93.8	10.6	28.0	582	早5日 (早い)	7/21	7/28	
	平年	88.2	10.6	27.1	604		7/25	7/30	9/12
	差	106%	100%	103%	96%		早4日	早2日	
	評価	やや長	平年並	平年並	平年並		やや早	平年並	
ゆめぴりか (北空知)	R6年	90.0	10.7	28.5	605	—	7/20	7/25	
	平年	87.4	11.1	30.9	685		7/24	7/28	9/11
	差	103%	96%	92%	88%		早4日	早3日	
	評価	平年並	平年並	やや少	少		やや早	やや早	
ふっくりんこ (深川)	R6年	91.7	10.8	24.2	545	—	7/22	7/25	
	平年	92.3	10.7	28.7	662		7/25	7/29	9/10
	差	99%	101%	84%	82%		早3日	早4日	
	評価	平年並	平年並	少	少		やや早	やや早	
きたゆきもち (幌加内)	R6年	81.1	10.1	27.4	608	早5日 (早い)	7/22	7/26	
	平年	81.5	10.2	22.9	508		7/27	7/30	9/15
	差	100%	99%	120%	120%		早5日	早4日	
	評価	平年並	平年並	多	多		早い	やや早	

2 積算温度による成熟期の予測（8/20現在）

- ① 平年の出穂期から成熟期までの積算温度は、深川「ななつぼし・ゆめぴりか・ふっくりんこ」960℃、雨竜・北竜「ななつぼし・ゆめぴりか」1000℃、幌加内「きたゆきもち」960℃を目安にします。ただし、総粒数の多い稲（水田）は、登熟温度が必要のため成熟期が数日遅くなります。
- ② 8/20現在、積算温度から計算した普及センター作況ほの成熟期見込みは、深川ななつぼしは8/30（平年比早8日）、深川ゆめぴりか8/30（平年比早8日）、深川ふっくりんこ9/4（平年比早6日）です。雨竜ななつぼし9/10（平年比早6日）、雨竜ゆめぴりかは9/9（平年比早8日）です。北竜ななつぼし9/11（平年比早7日）、北竜ゆめぴりかは9/8（平年比早8日）です。幌加内きたゆきもちの成熟期見込みは9/6（平年比早9日）で、各地区とも成熟期は早まる見込みです（表2）。
- ③ 直播の成熟期は960～1000℃を目安にします。酒米「吟風・彗星」は1050～1100℃、新品種の「そらきり」は1100～1200℃を目安にします（表3）。
- ④ 籾の黄化率で収穫時期を判定すると、遅れ穂の籾の緑色が気になり刈り遅れ傾向になります。成熟期予測日の1週間前には、玄米サンプルによる収穫時期の判定を行ってください。高温登熟している年は、刈り遅れにより胴割粒や白未熟粒、茶米が多くなりますので注意してください。

表2 普及センター作況、品種別出穂期と成熟期の見込み（8/20 現在）

地区 (アメダス)	品種(成苗)	R6出穂期 (月/日)	成熟期(月/日)		成熟期 平年比	平年登熟 温度(℃)
			R6成熟期見込み	平年成熟期		
深川(深川)	ななつぼし	7/18	8/30	9/7	早8日	960
	ゆめぴりか	7/18	8/30	9/7	早8日	960
	ふっくりんこ	7/22	9/4	9/10	早6日	960
雨竜(深川)	ななつぼし	7/25	9/10	9/16	早6日	1,000
	ゆめぴりか	7/24	9/9	9/17	早8日	1,000
北竜 (石狩沼田)	ななつぼし	7/25	9/11	9/18	早7日	1,000
	ゆめぴりか	7/23	9/8	9/16	早8日	1,000
幌加内(幌加内)	きたゆきもち	7/22	9/6	9/15	早9日	960

(注1)積算温度:8月20日現在まで本年値、以降は平年値を使用して算出した。

表3 出穂期別の積算温度による成熟期の予測（8/20 現在）

アメダス	項目・単位/ 出穂期	7/18	7/20	7/22	7/24	7/26	7/28	8/30	8/1	8/3	
深川	20日積算温度	℃	464	464	458	465	472	474	470	467	458
	40日積算温度	℃	910	900	886	878	872	865	856	847	832
	960℃到達日	月/日	8/30	9/2	9/4	9/7	9/9	9/12	9/15	9/17	9/21
	1,000℃到達日	月/日	9/1	9/4	9/7	9/9	9/12	9/14	9/17	9/20	9/23
	1,050℃到達日	月/日	9/4	9/6	9/9	9/12	9/15	9/17	9/20	9/23	9/27
	1,100℃到達日	月/日	9/6	9/9	9/12	9/15	9/18	9/21	9/24	9/27	10/1
	1,200℃到達日	月/日	9/12	9/15	9/18	9/22	9/25	9/28	10/1	10/5	10/9
石狩沼田	20日積算温度	℃	462	462	456	464	470	473	469	466	457
	40日積算温度	℃	907	897	883	874	869	862	852	843	828
	960℃到達日	月/日	8/30	9/2	9/5	9/7	9/10	9/12	9/15	9/18	9/21
	1,000℃到達日	月/日	9/1	9/4	9/7	9/9	9/12	9/15	9/17	9/20	9/24
	1,050℃到達日	月/日	9/4	9/6	9/10	9/12	9/15	9/18	9/21	9/24	9/28
	1,100℃到達日	月/日	9/7	9/9	9/13	9/15	9/18	9/21	9/24	9/28	10/1
	1,200℃到達日	月/日	9/12	9/15	9/19	9/22	9/25	9/28	10/2	10/6	10/10
幌加内	20日積算温度	℃	455	454	445	451	457	457	453	450	440
	40日積算温度	℃	879	869	855	846	841	834	824	815	800
	960℃到達日	月/日	9/1	9/3	9/6	9/9	9/11	9/14	9/17	9/20	9/23
	1,000℃到達日	月/日	9/3	9/6	9/9	9/11	9/14	9/17	9/20	9/23	9/27

(注1)積算温度:8月20日現在まで本年値、以降は平年値を使用して算出した。

3 胴割米を防止するための注意点

①遅れ穂の「登熟まち」は胴割粒の発生を助長します。この秋は、高温傾向が予想されているため、成熟期から1週間以上経過すると、例年以上に胴割粒が増加する恐れがあります。

玄米による収穫時期の判定を行い、適期収穫に努めてください。収穫適期は、成熟期から2～4日、遅くても5日以内です。

② 胴割粒は、乾燥初期に籾水分が高いと発生しやすいです。乾燥開始時は40℃以下（毎時乾減率0.5%以下）で乾燥を開始し、籾水分が25%未満になったら、通常の温度で乾燥（毎時乾減率0.5～0.8%）します。

③ 玄米による収穫時期の判定で、立毛中に胴割粒が発生している恐れがある場合は、収穫後は温度をかけずに通風のみで乾燥を開始し、籾水分をある程度落としてから温風に切り換え、毎時乾減率が0.5～0.6%になるように乾燥温度を設定します。

④ 過乾燥は、胴割粒の発生を助長します。初めに今年の籾の特徴（青未熟粒の多少等）を把握し、乾燥機停止後の籾の水分の戻りや乾き過ぎにならないかを確認しましょう。

乾燥中は乾燥機の水分計を目安に水分チェックをしますが、仕上げ水分の測定は、米麦水分計を使

って確認してください。

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和6年9月4日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第11号

1 9月1日現在の水稻生育状況

- ① 北空知の生育遅速は平年より5日早い「早い」です。北空知ななつぼしの稈長はやや長く、穂長は平年並みです。㎡当たり穂数は平年比97%ですが平年並みです。北空知ゆめぴりかの稈長・穂長は平年並みです。㎡当たり穂数は平年比88%で少ないです。深川ふっくりんこの稈長・穂長は平年並みです。㎡当たり穂数は平年比82%で少ないです。
- ② 幌加内の生育遅速は平年より4日早い「やや早」です。きたゆきもちの稈長・穂長は平年並みですが、穂長は若干長いです。㎡穂数は平年比119%で多いです。

表1 令和6年 水稻の生育状況（9月1日現在）

<普及センター調べ>

水稻品種 (地域)	項目	稈長 cm	穂長 cm	株当たり 穂数 本	㎡穂数 本/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節(月/日)		
							出穂期	黄熟期	成熟期
ななつぼし (北空知)	R6年	76.1	16.9	28.0	582	早5日 (早い)	7/21		
	平年	71.5	16.4	27.1	603		7/25	8/28	9/12
	差	106%	103%	103%	97%		早4日		
	評価	やや長	平年並	平年並	平年並		やや早		
ゆめぴりか (北空知)	R6年	70.9	16.2	28.5	611	—	7/20		
	平年	69.0	16.5	30.9	693		7/24	8/29	9/11
	差	103%	98%	92%	88%		早4日		
	評価	平年並	平年並	やや少	少		やや早		
ふっくりんこ (深川)	R6年	76.7	16.6	24.2	545	—	7/22		
	平年	74.3	17.0	28.7	662		7/25	9/1	9/10
	差	103%	98%	84%	82%		早3日		
	評価	平年並	平年並	少	少		やや早		
きたゆきもち (幌加内)	R6年	62.4	17.2	27.4	608	早4日 (やや早)	7/22	—	
	平年	63.3	16.5	23.0	510		7/27	—	9/15
	差	99%	104%	119%	119%		早5日	—	
	評価	平年並	平年並	多	多		早い	—	

2 積算温度による成熟期の予測（9/3現在）

- ① 平年の出穂期から成熟期までの積算温度は、深川「ななつぼし・ゆめぴりか・ふっくりんこ」960℃、雨竜・北竜「ななつぼし・ゆめぴりか」1000℃、幌加内「きたゆきもち」960℃を目安にします。
- ② 9/3現在、積算温度から計算した普及センター作況ほの成熟期見込みは表2のとおりですが、雨竜・北竜「ななつぼし・ゆめぴりか」は、㎡当たり総粒数が多いため、成熟期の見込みは9/12～15（平年比早2～4日）と予測されます（積算温度が1100℃程度必要）。
- ③ 幌加内きたゆきもちの成熟期見込みは、㎡当たり穂数（総粒数）が多いため、登熟温度は1000℃程度必要で9/7（平年比早8日）と予測されます。
- ④ 直播の成熟期は960～1000℃、酒米「吟風・彗星」は1050～1100℃、「そらきりり」は1100～1200℃を目安にします。
- ⑤ 成熟期予測日の1週間前には、玄米サンプルによる収穫時期の判定を行ってください。

表2 普及センター作況、品種別の積算温度による成熟期の見込み（9/3現在）

地区 (アメダス)	品種(成苗)	R6出穂期 (月/日)	成熟期(月/日)		成熟期 平年比	平年登熟温度(R6 予想登熟温度)℃
			R6成熟期見込み	平年成熟期		
深川(深川)	ななつぼし	7/18	8/29	9/7	早9日	960
	ゆめぴりか	7/18	8/29	9/7	早9日	960
	ふっくりんこ	7/22	9/3	9/10	早7日	960
雨竜(深川)	ななつぼし	7/25	9/8(9/14)	9/16	早8日(早2)	1000(1100)
	ゆめぴりか	7/24	9/7(9/13)	9/17	早10日(早4)	1000(1100)
北竜 (石狩沼田)	ななつぼし	7/25	9/9(9/15)	9/18	早9日(早3)	1000(1100)
	ゆめぴりか	7/23	9/6(9/12)	9/16	早10日(早4)	1000(1100)
幌加内(幌加内)	きたゆきもち	7/22	9/5(9/7)	9/15	早10日(早8)	960(1000)

(注1) 積算温度：9月3日現在まで本年値、以降は平年値を使用して算出した。

表3 出穂期別の積算温度による成熟期の予測(9/3現在)

アメダス	項目・単位/ 出穂期	7/18	7/20	7/22	7/24	7/26	7/28	8/30	8/1	8/3
深川	20日積算温度	℃	464	464	458	465	472	474	470	468
	40日積算温度	℃	926	921	916	910	906	899	889	880
	960℃到達日	月/日	8/29	8/31	9/3	9/5	9/7	9/10	9/13	9/15
	1,000℃到達日	月/日	8/31	9/2	9/5	9/7	9/10	9/12	9/15	9/18
	1,050℃到達日	月/日	9/2	9/5	9/7	9/10	9/13	9/15	9/18	9/21
	1,100℃到達日	月/日	9/5	9/7	9/10	9/13	9/16	9/18	9/22	9/25
	1,200℃到達日	月/日	9/10	9/13	9/16	9/19	9/22	9/25	9/29	10/2
石狩沼田	20日積算温度	℃	462	462	456	464	470	473	469	466
	40日積算温度	℃	924	920	914	908	903	896	886	877
	960℃到達日	月/日	8/29	8/31	9/3	9/5	9/8	9/10	9/13	9/15
	1,000℃到達日	月/日	8/31	9/2	9/5	9/7	9/10	9/12	9/15	9/18
	1,050℃到達日	月/日	9/2	9/5	9/8	9/10	9/13	9/16	9/18	9/21
	1,100℃到達日	月/日	9/5	9/8	9/11	9/13	9/16	9/19	9/22	9/25
	1,200℃到達日	月/日	9/10	9/13	9/17	9/20	9/23	9/26	9/29	10/3
幌加内	20日積算温度	℃	455	454	445	451	457	457	453	450
	40日積算温度	℃	896	889	883	877	872	865	855	846
	960℃到達日	月/日	8/30	9/2	9/5	9/7	9/10	9/12	9/15	9/18
	1,000℃到達日	月/日	9/1	9/4	9/7	9/9	9/12	9/15	9/18	9/21

(注1) 積算温度: 9月3日現在まで本年値、以降は平年値を使用して算出した。

3 倒伏した水田を収穫する際の注意について

- ① 8/27の大雨や強風により、稲の倒伏が目立ってきました。最新の1か月予報で、引き続き高温傾向が予測されています。気温が高いと降雨後に地面に接している粃(完熟粃)が発芽します。
- ② 倒伏した稲は、収穫時期を遅らせても登熟は進まず、青未熟粒・白未熟粒・茶米・ヤケ米・穂発芽粒等の被害粒や紅変米・背黒米等の着色粒が増加し整粒歩合は著しく低下します。倒伏した水田は、玄米による収穫時期の判定を行い、品質の大幅な低下や経済的損出を防いでください。

(1) 必ず、別刈り別扱いします

- ① 倒伏水田の稲は別刈りし、乾燥や粃すり等も別作業を行ない、通常の粃と混ざらないように注意してください。
- ② 水田で倒伏した部分は、「追い刈り」でコンバインの作業速度を落として、丁寧に刈り取ってください。作業時間はかかりますが焦って作業を行わないでください。焦った作業は、事故や機械の損傷、怪我につながります。
- ③ 水分が高い粃を収穫する場合は、選別不良にならないように、こぎ胴の適正回転数を遵守します。
- ④ 収穫時の高水分粃は、長時間放置しないでください。粃の呼吸熱や日射等により粃が高温になりさらに変質します。粃水分26~30%の場合の貯留可能時間は8時間以内、粃水分30%以上の場合は半日程度です。

(2) 乾燥時の注意について

- ① 収穫した粃は、高水分粃が予想されますので、収穫後は速やかに乾燥を行ってください。粃水分が高い場合は、高温乾燥(急激な乾燥)を避けます。粃水分が25%以上では、40℃以下(毎時乾減率0.5%以下)で乾燥を開始し、粃水分25%未満になったら、通常の温度で乾燥(毎時乾減率0.5~0.8%)します。
- ② 二段乾燥を行い粃水分の均一化をします。一次乾燥の粃水分は17~18%です。1日以上乾燥を休止し粃水分が均一になるようにします(可能であれば3日以上、粃倉やハードコンテナ等で貯留します)。水分17~18%の粃は30日以内の貯留が可能です。
- ③ 倒伏した水田の粃は、通常の粃と区別し混ざらないように出荷します。

そのときどきの技術情報

<水 稲 編>

発行日：令和5年9月20日
発行：JAきたそらち販売部
各支所営農課

令和6年 第12号

1 9月15日現在の水稻生育状況

- ① 北空知の9/15現在の生育遅速は、平年より5日早いです。北空知ななつぼしの成熟期は、平年より5日早い9/7です。ななつぼしの㎡穂数は平年比97%の平年並み、㎡稈実粒数は平年比101%で平年並みです。北空知ゆめぴりかの成熟期は9/4（平年比早7日）、深川ふっくりんこの成熟期は9/6（平年比早4日）です。北空知の収穫始は、平年より10日早い9/9です。
- ② 幌加内の9/15現在の生育遅速は、平年より5日早いです。きたゆきもちの成熟期は、平年より5日早い9/10です。きたゆきもちの㎡穂数は平年比119%で多く、㎡稈実粒数も平年比110%でやや多いです。幌加内の収穫始は、平年より7日早い9/10です。

表1 令和6年 水稻の生育状況（9月15日現在）

〈普及センター調べ〉

水稻品種 (地域)	項目	㎡当たり 穂数 本	1穂粒数 粒	㎡総粒数 粒/㎡	㎡稈実粒 数 粒/㎡	生育遅速日 数(評価)	生育期節・農作業期(月/日)		
							成熟期	収穫始	収穫期
ななつぼし (北空知)	R6年	582	63.2	36,782	33,104	早5日 (早い)	9/7	9/9	
	平年	603	57.9	34,778	32,818		9/12	9/19	9/26
	差	97%	109%	106%	101%		早5日	早10日	
	評価	平年並	やや多	やや多	平年並		早い	早い	
ゆめぴりか (北空知)	R6年	607	53.3	32,369	30,735	—	9/4	—	—
	平年	697	49.8	34,536	32,118		9/11	—	—
	差	87%	107%	94%	96%		早7日	—	—
	評価	少	やや多	やや少	やや少		早い	—	—
ふっくりんこ (深川)	R6年	545	53.0	29,024	27,494	—	9/6	—	—
	平年	660	49.6	32,640	31,027		9/10	—	—
	差	83%	107%	89%	89%		早4日	—	—
	評価	少	やや多	少	少		やや早	—	—
きたゆきもち (幌加内)	R6年	608	61.6	37,452	35,129	早5日 (早い)	9/10	9/10	
	平年	510	66.5	33,915	31,914		9/15	9/17	9/27
	差	119%	93%	110%	110%		早5日	早7日	
	評価	多	やや少	やや多	やや多		早い	早い	

2 収穫後のほ場管理

- ① 収穫後の透排水性改善は、来年の米づくりに向けた大切な作業です。水が溜まっている水田は、積極的にほ場の乾燥に努めてください。

- ② 収穫後の水田は、ほ場の乾き状態からほ場管理の手順が変わります。最適な方法を選んで実施してください（図1）。

- ③ 稲わら分解のための石灰窒素の施用：

コンバイン収穫後に、石灰窒素を10a当たり10kg散布し、5cm程度の浅耕しをします。石灰窒素を施用して稲わらの秋すき込みを行うと、翌年発生するメタン

（フキの原因）を、春すき込みより大幅に減らすことができます（メタンは二酸化炭素の25倍の温室効果ガスを発生、温室効果ガスの削減効果が大い）。

- ④ 石灰窒素の表面散布： 稲わらの秋すき込みができない場合は、稲わらの上から石灰窒素を10a当たり10kg散布しそのまま放置します。石灰窒素の作用で稲わらを分解する微生物を増殖させ、微生物の活動に好適な弱酸性から中性にします。翌春までに、稲わらの細胞が柔らかくなり「ほぐれる感じ」に分解され、メタンの発生量を減らすことができます。秋に石灰窒素を10kg施用して

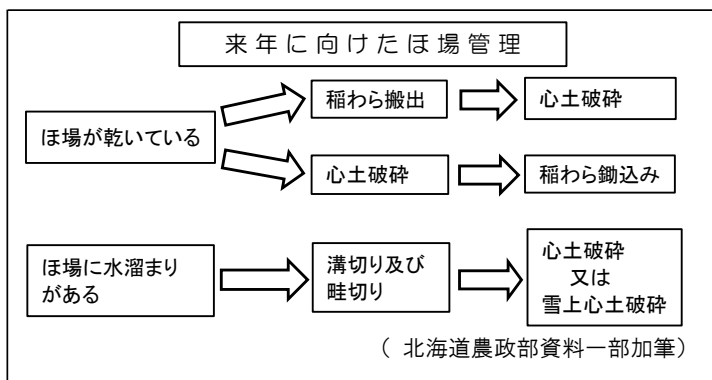


図1 収穫後のほ場管理のイメージ図

も、次年に施肥窒素を減らす必要はありませんが、石灰窒素を 20kg 施用すると窒素 1 kg／10a 程度の減肥が必要です。ただし、今年、倒伏した水田は、基本的に窒素の減肥が必要です。